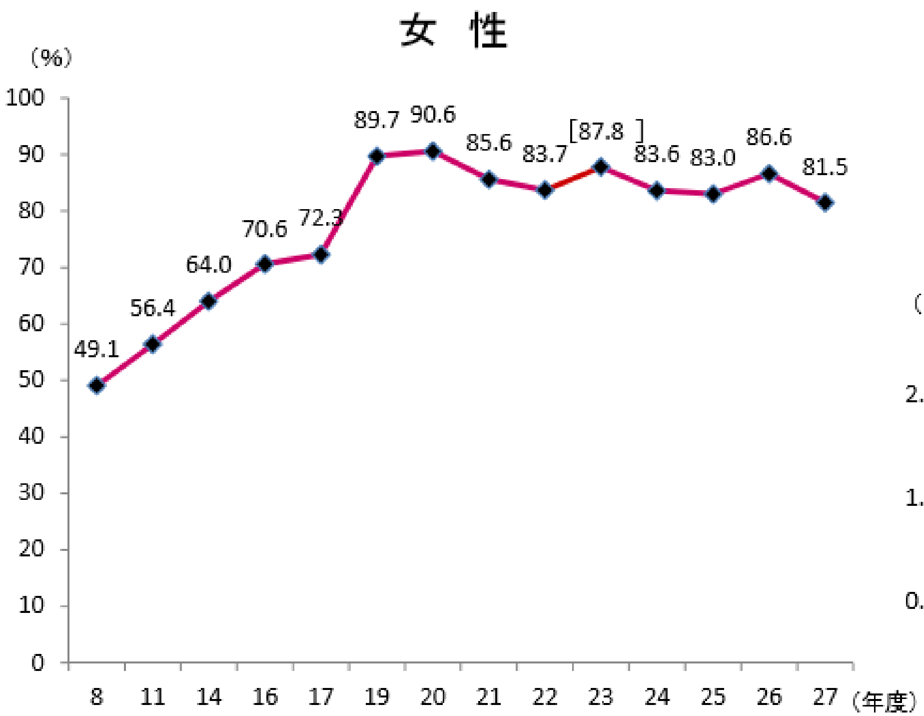
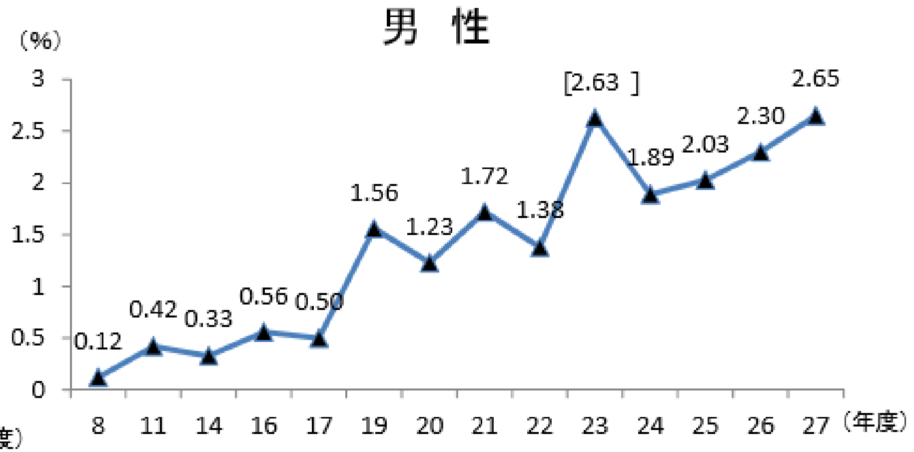
図表　育児休業の取得率

○　女性の育児休業取得率はおおむね横ばいで推移している。
○　男性の育児休業取得率は、近年上昇傾向にあるものの、男性の制度の活用は低水準にとどまっている。





$$\text{育児休業取得率} = \frac{\text{出産者のうち、調査時点までに育児休業を開始した者（開始予定の申出をしている者を含む。）の数}}{\text{調査前年度１年間（※）の出産者（男性の場合は配偶者が出産した者）の数}}$$

（※）　平成23年度以降調査においては、調査前々年10月１日から翌年９月30日までの１年間。
注）　平成23年度の［　］内の割合は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

資料出所：厚生労働省「雇用均等基本調査」